

月日と行事名	行事の内容・由来	料 理
7月2日 <small>はんげまつ</small> 半夏祭り	<small>げし</small> 夏至から11日目にあたり、この日まで <small>たう</small> 田植えを終えると米になるという。	もちをつきおまいりする。
7月20日頃 <small>どよう</small> 土用	<small>あつ</small> 暑さが最も <small>もっと</small> きびしいときで、 <small>しょくようじょう</small> 食養生に関するいろいろなしゅうかんがある。	土用もち、土用卵、土用うなぎなど。「う」のつくものを食べたりする。
8月8日 <small>ふたこまい</small> 二つ子参り	<small>きたやまやくし</small> 北山薬師（北塩原村）のまつり。2歳になった子供 <small>かん</small> に願をかける。	<small>いわ</small> お祝いに <small>せきはん</small> 赤飯，もちをそなえて食べる。
8月13日 ～16日 <small>ぼん</small> 盆・墓参り	<small>せんぞ</small> 先祖の <small>れい</small> 霊を迎え、 <small>しょうじん</small> 精進料理を作り家族そろって <small>はかまいり</small> はかまいりに行く。	精進料理， <small>あずきめし</small> 小豆飯，そうめん，てんぷら， <small>えだまめ</small> 枝豆，エゴ（海草）など。
9月1日 <small>にひやくとうか</small> 二百十日	<small>りっしゅん</small> 立春の日から210日目の日。 <small>いね</small> 稲の <small>みの</small> 実りの時期に <small>じき</small> 天気がおだやかであることを <small>いの</small> 祈る。	もちをついてそなえ食べる。
8月15日 <small>まめめいげつ</small> 豆名月 9月13日 <small>いもめいげつ</small> 芋名月	月の見える場所に <small>さといも</small> 枝豆， <small>くだもの</small> 里芋，果物などと <small>だんご</small> 団子をそなえる。	団子，里芋などで団子汁をつくって食べる。